

「北海道遺産函館山からの提言」(12時間扱い)

授業者 森 紗織

1. 国語科の目標・第5学年及び第6学年における目標・本単元の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準

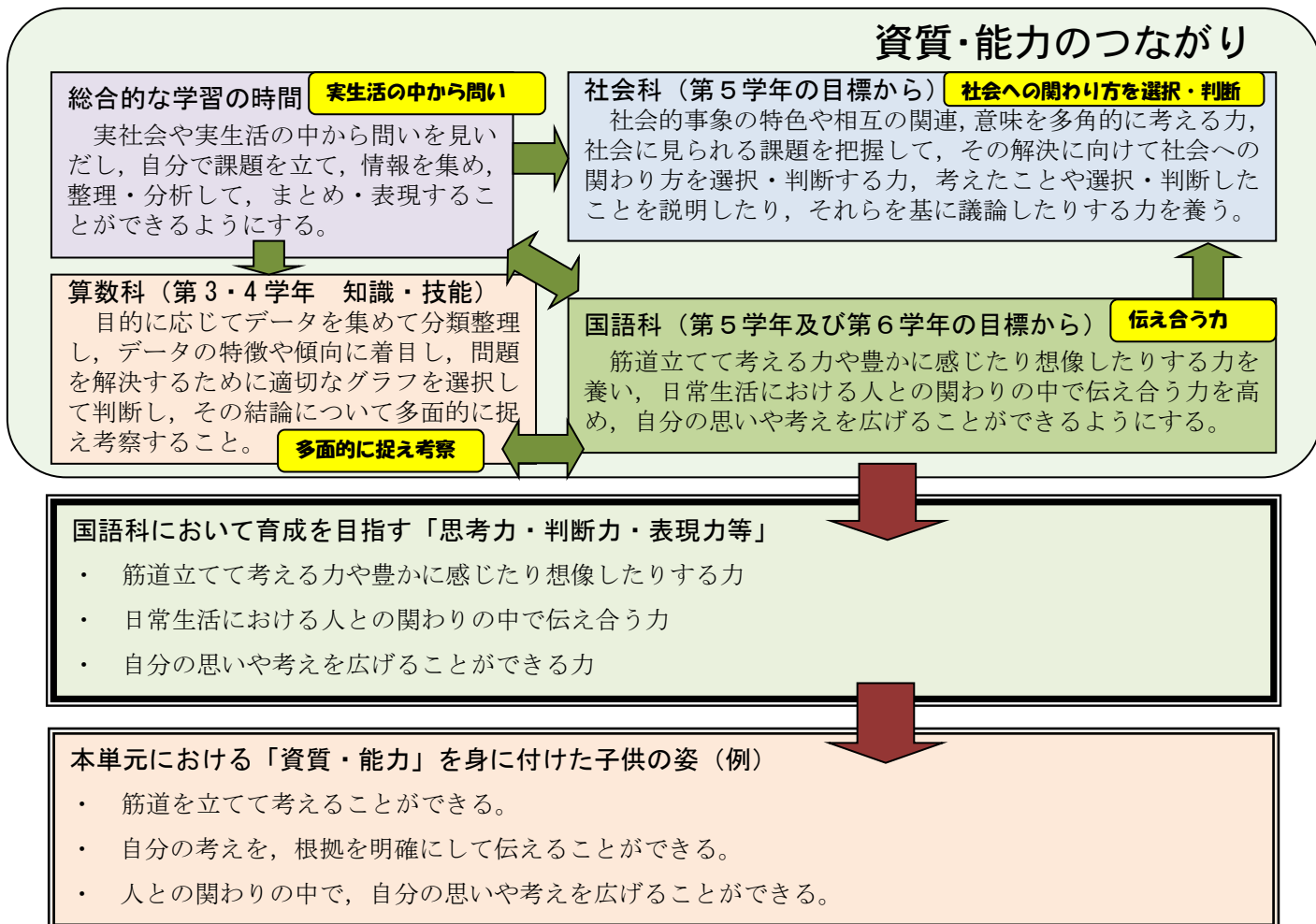
国語科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	国語科の見方・考え方		
	創造的思考とそれを支える論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面から言葉の働きを捉え、理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを深めること。		
	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等など (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	
第五学年及び第六学年の目標	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
本単元の目標	多様な文章や資料を比べながら読み、自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書くことができるようにする。		
	原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	白神山地への提言や函館山からの提言を行うために、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。【Bア】 白神山地からの提言がどのように書かれているか読み取るために、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を付けたり、論の進め方について考えたりすること見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。【Cウ】	「白神山地の自然保護の在り方」について感想をもったり、仲間と伝え合ったりして自ら進んで学びを進めている。 「函館山」に関して本を読んで得た知識、そこからもった考えや感想、気に入ったところを進んで伝え合ったり紹介し合ったりしている。
	評価1	評価2	評価3

《単元について》 【Bア】 【Cウ】

総合的な学習の時間で行っている函館山に関する学習を生かして提言を行う単元である。提言を書く目的に向かって、さまざまな種類の資料から情報を読み取り、整理・交流することで考えや根拠を広げたり深めたりしていくことができるようにする。第一段階として、「世界遺産白神山地からの提言」を参考にしながら「世界遺産白神山地への提言」メモを作成し、第二段階として「北海道遺産函館山からの提言」を行うことで、より確かな力へとしていく。

2. 研究との関わり

(1) 資質・能力の育成を支える「学びの文脈」～「思考力・判断力・表現力等」を中心として



(2) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する手立て

○ 手立て1 **単元を貫く課題の設定と振り返りの工夫**

子供が課題を解決していく見通しをもって学習活動に取り組むことができるよう、単元の開始期に単元の全体計画を考える時間を設定し、子供の興味・関心に基づくゴールイメージを確認する。ゴールに行き着くまでの過程の一つ一つのめあてや身に付けたい力・取り組み方が明確になると同時に、振り返りの視点としても活用する。常にゴールを意識し、単元計画に基づいた毎時間の振り返りや単元のまとめ期に振り返りを行う機会を設定する。

○ 手立て2 **必要感のある対話的な学びを促す**

多様な情報から自らの考えや立場を明確にして交流する。話し合い場面を繰り返し設定し、考えの根拠が広がったり深まったりする経験を通して、立場や考えを明確にする必要感や実感をもつことができるようにする。

○ 手立て 3 **資料収集の補助として ICT を活用する**

函館山に関する資料収集の補助として ICT を活用する。紙媒体での保管が難しい動画や音声データ、写真など多様な資料を保管し、必要に応じて確認したり、新たな資料を探したりすることができるようにする。

3. 単元のグランドデザイン

	白神山地の自然保護の在り方について提言		函館山の在り方について提言	まとめ	
	1	2・3・4・5	6・7	8・9・10・11	
開始期	総合的な学習の時間で学習した函館山に関する事項を振り返り、単元の計画をたてる。	○ 多様な資料を読みとり、白神山地について知る。	○ 白神山地の自然保護の在り方についての自分の立場を決める。	○ 函館山の在り方について取り上げたい問題を決めて書く事柄を収集する。	
展開期		○ 「ブナの森が支える豊かな自然」「白神山地の自然保護」を読み、自然保護の方法を知る。 ○ 函館山の様子と比べる。 ○ 資料1～6を読んだり、白神山地について書かれた提言文例を読んだりし、提言文の構成や内容を捉える。	○ 立場を明確にして交流し、考えを広めたり深めたりする。 ○ 書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理する。	○ 立場を明確にして交流し、考えを広めたり深めたりする。 ○ 自分が考えた事や感じたことから提言することを決める。 ○ 集めた資料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 ICTによる資料活用	○ 提言会を行い、提言構成や根拠となる資料の有用性について意見交流を行う。
まとめ期		<p>表現する場を保証するグループワーク・ペア学習やグループ学習、自由交流などの活動を設定</p> <p>目的に応じた振り返り ・学習の成果を実感する ・学習活動を振り返る ・子供同士による相互評価</p> <p>○ 自分の学びについて振り返り、次時の見通しや単元の進み方を確認する。</p> <p>ICTによる資料の振り返り</p> <p>北海道遺産 函館山からの提言</p>			○ 互いの成果を認め合い、自分の学びについて学びについてまとめる。

単元のゴール「函館山からの提言文例」

北海道遺産の函館山を守るためには、人ができるだけ立ち入らないようにし、年に1度人が入れる期間を作ってみるとというのが私の意見です。

そう考える1つめの理由は、博物館の佐藤さんが江戸時代ははげ山で植林しても状態は改善しなかったけれど、保護区として立ち入り禁止にしたら緑になったというお話でした。人が入ると壊れるのはしかたがありません。

2つ目の理由は、函館山に来る観光客の目的のほとんどが夜景という観光協会の人の話です。普段はロープウェイと展望台だけ使っていていいということにしてもあまり困らないと思います。

もちろん、貴重な函館山に残る自然に触れ、関心をもつことも大事です。ですから、期間を限定して監視員がたった中で、許可して試みることでみんなの気持ちが満足すると思います。

ですから、私は、函館山には人ができるだけ立ち入らないようにしながらも、入れる期間を作ってみても良いと思います。

4. 本時案 (7/10)

<p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 白神山地の自然保護の在り方について立場を明確にして交流し、自分の考えとその根拠を整理することができるようにする。 	
<p>学習活動 (○) と子供の姿</p>	<p>教師の支援 (☆) と評価 (◇)</p>
<p>○ 前時に書いた提言メモを見ながら単元の計画に基づいた振り返りを行い、本時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提言 はじめ → 中 → おわり</p> <p>【 根拠を明確にして説明 】</p> <p>中 (<u>事実</u>「自分の立場の根拠となる資料の選択」と <u>意見</u>)</p> <p>【 説得力 UP 技 】</p> <p>(<u>もちろん+予想される反対意見, しかし+打ち消す意見</u>)</p> </div>	<p>☆ <u>必要感や必然性を感じながら、より自主的に課題に取り組めるよう、ゴールイメージを共有する。【手立て1】</u></p>
<p>それぞれの立場の「中」を交流して、より自分の考えが伝わる文にしよう。</p>	
<p>○ 教師が提示した提言メモを読みながら、「中」交流のポイントを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>自信がないからアドバイスが欲しいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>選んだ資料への意見も見ると、いいと思うよ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; width: 100%;"> <p>選んだ資料と内容が合っているかだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; width: 100%;"> <p>それぞれの立場の人と交流すると、たくさん考えられそう。</p> </div> <p>○ 「中」交流を行う。(グループ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>この資料からだと確かに、その考えができるね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>本当にこの資料からこれが言えるのかな。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; width: 100%;"> <p>こんな反対意見がありそうじゃないかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; width: 100%;"> <p>友だちにいい意見をもらったから、よくなりそうな気がする。</p> </div>	<p>◇ 伝えたいことを明確にするために、考えの根拠となる事例を比較したり、関係づけたりしている。 評価2</p> <p>☆ <u>より多くの考え方に触れられるよう、交流場面を2度(同じ立場と違う立場のメンバー)設定する。【手立て2】</u></p> <p>☆ 文章と図表の結び付きに注目して交流することが出来るよう、「中交流ポイント」基にした交流カードを用意する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「中 交流ポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠(資料)のつながり 資料の抜き出し方 反対意見の予想されやすさ 打ち消す意見のなるほど度 </div>
<p>○ 自分の「中まとめ」に対するアドバイスや、交流中に考えたことを基に推敲し、提言文をまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>アドバイスのおかげで自信がもてたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>この1行を書き直したらわかりやすくなった気がする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; width: 100%;"> <p>むずかしいと思ったけど、完成したね。</p> </div> <p>○ 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; width: 100%;"> <p>提言の書き方がわかってきたよ。函館山からの提言が楽しみなね。</p> </div>	<p>☆ 交流後に自分の考えが広がっていることを実感できるよう、提言メモに書き込むことを促す。</p> <p>☆ 次の学習への意欲を高め、見通しをもつことができるよう、考えを広げている様子を取り上げ、賞賛する。</p>